

事項	露地栽培（10月出荷）における小ギクの品種の特性																																		
ねらい	<p>花き生産拡大のため、低コストで栽培できる品目として、施設を利用せず、品種登録がなく自家増殖が可能な小ギクが有望と思われる。</p> <p>このような状況の中で試験を行った結果、10月出荷における秋ギクタイプの小ギクの有望な品種の特性が明らかになったので参考に供する。</p>																																		
指導参考内容	<p>1 品種の特性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>花色</th> <th>品 種 名</th> <th>採花時期</th> <th>特 性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">白</td> <td>初 雪</td> <td>10月中～ 下旬</td> <td>純白色、切り花長が長く、茎が太くなり易い。第2側枝数が少ない。</td> </tr> <tr> <td>はやぶさ</td> <td>10月中～ 下旬</td> <td>切り花長が長い。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">黄</td> <td>しののめ</td> <td>10月上旬</td> <td>切り花長はやや短く、第2側枝数がやや多い。</td> </tr> <tr> <td>みのり</td> <td>10月下旬</td> <td>切り花長が長く、第2側枝がやや多い。</td> </tr> <tr> <td>おきな</td> <td>10月下旬</td> <td>橙色がかった黄色。 切り花長が長く、第2側枝数が少ない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">桃</td> <td>たまえ</td> <td>9月下～ 10月上旬</td> <td>切り花長がやや短い。花色が鮮明。</td> </tr> <tr> <td>映子</td> <td>9月下～ 10月上旬</td> <td>切り花長がやや短い。花色が鮮明。</td> </tr> <tr> <td rowspan="1">赤</td> <td>紅 鳥</td> <td>10月下旬</td> <td>切り花長が長い。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 挿し芽：6月上旬 2) 定 植：6月下旬 3) 摘 心：6月下旬 3本仕立て</p>			花色	品 種 名	採花時期	特 性	白	初 雪	10月中～ 下旬	純白色、切り花長が長く、茎が太くなり易い。第2側枝数が少ない。	はやぶさ	10月中～ 下旬	切り花長が長い。	黄	しののめ	10月上旬	切り花長はやや短く、第2側枝数がやや多い。	みのり	10月下旬	切り花長が長く、第2側枝がやや多い。	おきな	10月下旬	橙色がかった黄色。 切り花長が長く、第2側枝数が少ない。	桃	たまえ	9月下～ 10月上旬	切り花長がやや短い。花色が鮮明。	映子	9月下～ 10月上旬	切り花長がやや短い。花色が鮮明。	赤	紅 鳥	10月下旬	切り花長が長い。
花色	品 種 名	採花時期	特 性																																
白	初 雪	10月中～ 下旬	純白色、切り花長が長く、茎が太くなり易い。第2側枝数が少ない。																																
	はやぶさ	10月中～ 下旬	切り花長が長い。																																
黄	しののめ	10月上旬	切り花長はやや短く、第2側枝数がやや多い。																																
	みのり	10月下旬	切り花長が長く、第2側枝がやや多い。																																
	おきな	10月下旬	橙色がかった黄色。 切り花長が長く、第2側枝数が少ない。																																
桃	たまえ	9月下～ 10月上旬	切り花長がやや短い。花色が鮮明。																																
	映子	9月下～ 10月上旬	切り花長がやや短い。花色が鮮明。																																
赤	紅 鳥	10月下旬	切り花長が長い。																																
期待される効果	小ギクの10月出荷における品種選定の参考となる。																																		
利用上の注意事項																																			
担 当	フラワーセンター21あおもり 普及技術部	対 照 地 域	県下全域																																
発 表 文 献 等	平成12年度 フラワーセンター21あおもり試験成績概要集																																		

【根拠となった主要な試験結果】

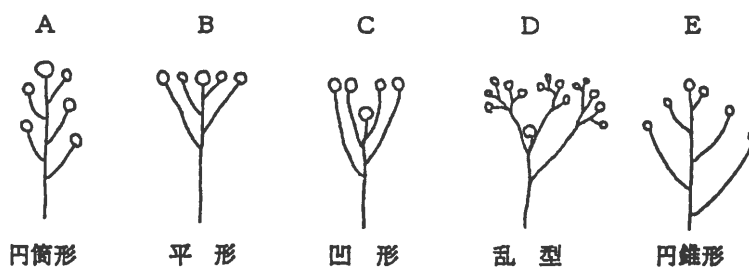
表1 採花期及び切り花品質

(平成11年 フラワーセあおもり)

花色	品種名	切り花長 (cm/本)	葉数 (枚/本)	第2側枝数 (本/本)	第2側枝発生率 (%)	茎径 (mm/本)	切り花重 (g/本)	花房形	採花期 盛期	有望度
白	たくま	47.4	22.4	10.9	49	3.9	28.2	B	10/7	
	初雪	97.3	40.1	9.4	23	5.8	73.8	CB	10/20	◎
	はやぶさ	75.5	43.8	13.3	30	4.9	48.6	E	10/21	○
黄	しののめ	68.3	35.4	19.0	54	4.4	51.4	A	10/5	○
	つどい	53.6	23.5	15.4	66	4.2	39.9	AE	10/1	
	みのり	91.1	36.7	20.3	55	5.1	72.6	C	10/23	◎
	おきな	87.3	39.4	11.6	29	5.5	63.8	CA	10/26	◎
桃	たまえ	53.6	27.8	13.1	47	4.3	36.1	AB	9/29	○
赤	映子	64.4	29.9	16.6	56	4.6	49.6	E	9/29	○
	紅鳥	81.2	38.2	15.4	40	4.9	66.9	BE	10/23	◎
	芳香(標準)	76.9	35.2	17.8	51	5.6	73.4	E	10/10	

注1) 第2側枝発生率=葉数÷第2側枝数×100

2) 花房形は、下記のとおり



3) 花房形は、特定の花房形が50%越えた場合、記号を1個記入した。

特定の花房形が50%越えない場合は、記号を2個記入した。その中でも多い方を前に記入した。2つ同率の場合は、ABC順に記入した。

4) 有望度は、標準品種に対して切り花長が同等以上の場合は「有望(◎)」とし、短いものでも出荷規格内におさまる場合と、特に花色が優れると判断したものは「やや有望(○)」とした。

耕種概要

- 1 栽培様式：うね幅140cm、条間30cm、株間15cm、4条植え
- 2 施肥量(kg/a)：N：P₂O₅：K₂O=1.0：1.0：1.0
- 3 挿し芽：6月5日
- 4 定植：6月23日
- 5 摘心：6月29日 3本仕立て